

高月中学校制服検討会議概要報告

1、ブレザーについて

ニットブレザー（キュプラ 20%、ポリエステル 80%）を採用する

<理由>

- ◆得票数が小中ともに最も多い。
- ◆価格的に、安価である。
- ◆伸縮性に優れ、縦横のストレッチが利いているので、着やすい。
- ◆速乾性があり、洗濯が簡単にできる。

※会議の中では、強度や耐久性の問題が指摘されていましたが、業者や採用している他校に確認したところ、「通常の着用においては、特に問題はなし」との回答でした。

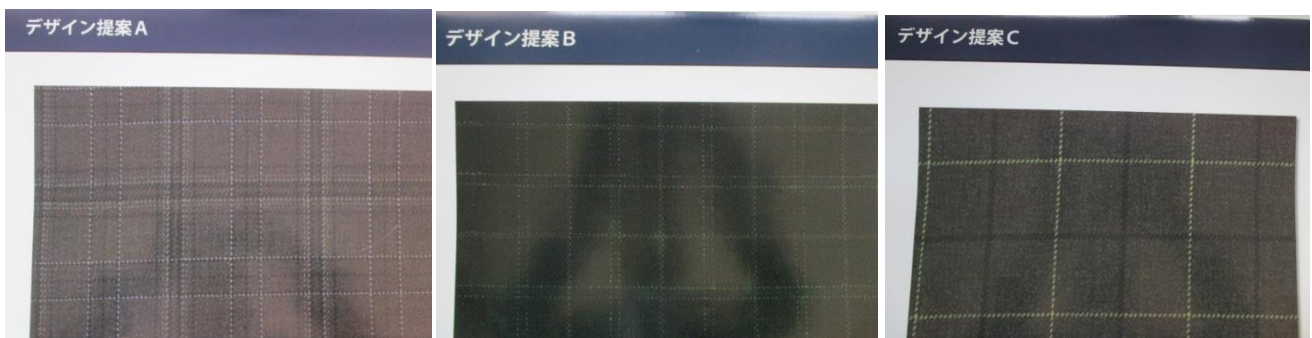
2、スラックス・スカートについて

Aタイプのスラックス・スカートを採用する

<理由>

- ◆得票数が最も多い。（中学校ではCのタイプが多かったが、価格が高いため、Aを採用）

※素材は、3タイプともウール 30%、ポリエステル 70%となります。



3、ワッペン・ボタンについて

ボタンは、1のタイプを採用する。カラーは、ブレザーの色とマッチするため、紺色（見本の色）とする。ただし、ワッペンについては、名札と重なることや価格を抑える理由から、無しとする。



<理由>

- ◆得票数が最も多い。（中学校では2のタイプが多かったが、合計数で最も多いものを採用）



4、ネクタイ・リボンについて

ネクタイ・リボンの選択制にする。

<理由>

- ◆得票数が小中ともに最も多く過半数を占めている（全体の54%）。
- ◆ワッペンを取りやめたことで胸元まわりが貧相に見えるため、ネクタイ・リボンを着用することで引き締まった感じになるという意見が多数あるため。

※「ネクタイ・リボンなし」の得票率は26%ですが、着用派は約70%と多数であることやワンタッチ式の着脱でつけ外しが容易なことから、学校指定とすることにしました。また、着用派の中でも「ネクタイのみ」については、全体の15%にとどまるため、得票率が最も多い「ネクタイ・リボン選択制」を採用しました。

※ただし、実際の着用場面については、校内で検討した結果、儀式（入学式や卒業式、始業式・終業式等）の時や入試等の改まった場面、その他必要な場面を除き、着用については個人の判断にまかせることにしました。（近隣校も同様の扱いになっています）

※ネクタイは、長いタイプと短いタイプの2種類あります。



5、中着について

学校指定として、紺色のVネックのベスト及びセーターを採用する（胸元に高月中のイニシャル「T」を表す刺繍を入れる）

市販のVネックのベストまたはセーター（カーディガンは不可）についても準指定服とする。色は紺色の無地（ワンポイント等なし）。

<理由>

- ◆学校指定のものは、市販の安価なものに比べて価格的には高いが、その分、素材はしっかりしており、毛玉ができたり、ほつれたりしにくい。
- ◆市販のVネックセーターやベストについては、保護者負担の軽減のため、準指定服とする。
※ただし、高価なものや華美なものになることを避けるため、紺色の無地のものとししました。

6、その他

決定した新制服については、生徒・保護者あてに文書でお知らせするほか、本校HPにおいても公開します。また、以下の場面で展示します。

<中学校>11月13日(土) 午後の授業参観・3年生進路説明会・PTA研修会

<小学校>11月22日(月) 新入生保護者説明会

<参考>

コーディネート例

